氏名	田口孝行	部署	理学療法学科	職名	教授
研究分野	地域リハビリテーション、ヘルスプロモーション				
学位	博士（保健科学）				
学歴	1990年4月：秋田大学医療技術短期大学部理学療法学科、1997年10月：放送大学教養学部生活と福祉専攻、2001年4月：筑波大学大学院教育研究科修士課程、2004年4月：東京都立保健科学大学大学院保健科学専攻博士課程				
経歴	1993年4月：東京都リハビリテーション病院、1998年5月：東京都立保健科学大学保健科学部助手、2001年4月：埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、2005年4月：埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2011年4月：埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授、2014年4月：埼玉県立大学保健医療福祉学部教授				
所属学会（役職）	日本理学療法士協会（代議員）、日本公衆衛生学会、日本老年医学会、日本老年社会科学会、日本保健科学学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、専門リハビリテーション研究会、日本PNF研究会（監事）、埼玉県理学療法士会（理事・副会長）				

【2023年度実績】

1．研究業績

（1）著作

	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	これからのIPE（専門職連携教育）ガイドブック 執筆担当：コラム　他の大学とカウンターパートを組む目的と運営の実際	共著	あり	南江堂、全215 担当：コラム（p22-23）	編：酒井郁子、井出成美、朝比奈真由美 執筆：田口孝行	2023.6

（2）論文

	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし						

（3）学会発表

	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は〇印）	発表等年月
1	地域在住高齢女性における社会的フレイルと生きがい意識の関係	共同	第42回関東甲信越ブロック理学療法士学会（さいたま市）	〇村上綾香，吉井春風，小川秀幸，水田宗達，田口孝行	2023.10
2	神経難病者の介入実態調査 －埼玉県理学療法士の介入実態－	共同	第42回関東甲信越ブロック理学療法士学会（さいたま市）	〇寺田廣大，笠井健治，川崎翼，芝崎伸彦，常名勇気，降矢茂実，田口孝行	2023.10
3	埼玉県理学療法士会と埼玉県看護協会による神経難病に関する協同研修事業における課題	共同	第42回関東甲信越ブロック理学療法士学会（さいたま市）	〇芝崎伸彦，嶋田一美，田口孝行	2023.10
4	訪問リハと自主トレ指導の遠隔リハ併用による介入期間短縮の可能性（事例報告）	共同	第10回日本地域理学療法学会（八王子市）抄録集p137	〇佐々木亀志，田口孝行，原弘樹，片桐健，藤澤智仁，中里仰志，内田亮太，神成文裕，織田徹也	2023.12

（4）その他

	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は〇印）	発表等年月
1	ヒューマンケアを起点とする地域基盤型専門職連携教育の今後の可能性	共同	第55回日本医学教育学会大会シンポジウム（長崎）	〇田口孝行，柴﨑智美，細谷治，古屋牧子，勝木祐仁，上田秀雄，高尾浩一	2023.7
2	連携に必要な職種理解を深めるワークショップ～専門職をキャラ化してみよう～	共同	第55回日本医学教育学会大会ワークショップ（長崎）	〇米岡裕美，ファシリテータ：柴﨑智美，金田光平，田口孝行，勝木祐仁，古屋牧子	2023.7

2．競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	吉川市受託研究	吉川市モデル地域おけるフレイルの実態調査に関する研究	研究代表者（20万円）	2023.5-2024.3

2	産学連携共同研究	訪問型サービスCにおける訪問・遠隔併用型リハビリの実施方法と有効性に関する研究	研究代表者（70万700円）	2022.5-2023.12

3．教育業績

（1）講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	生活環境論（2年前期）	○	8	リハビリテーションにおける家屋調査、家屋改造等に関する講義。
2	理学療法応用技術学C（生活環境支援）（3年後期）	○	8	生活環境支援の考え方の基本を学び、各種疾患に対する生活環境支援と適応についての具体的実践例を提示して解説した。
3	保健医療福祉概論（大学院）	○	6	保健医療福祉領域における研究方法と論文作成の基本について講義。各種社会保障制度、支援システムの課題と今後のあり方について検討する。また、医療と介護の連携等について講義。
4	IPWシステム開発論（大学院）		5	専門職のIPW能力開発の理解を深める。地域基盤型IPW実習の学習効果を解説し、4大学連携教育の取組状況と学習成果やその教育支援システムについて解説（発表会含む）。
5	地域リハビリテーション学		2	学校法人早稲田医療学園早稲田医療技術専門学校　保健学科：非常勤講師：地域支援事業におけるリハビリテーション活動
6	老年期障害理学療法技術学（3年前期）	○	8	高齢期に起こりやすい障害を想定した介助・介護方法の演習。また、地域の高齢者を招き学生が考案した健康講座を実践的に実施。

（2）演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨床運動学演習（3年前期）		13	失調症、脊髄損傷患者の動作分析に関する演習。
2	基礎理学療法学演習（1年後期）		2	協調性の維持と改善：協調性の維持と改善について理論と原理について解説と演習を実施。
3	理学療法セミナーⅠ（OSCE1）		8	臨床教育実習Ⅱに向けた、理学療法に必要な問診、面接、及び基本的評価技術に関する演習を実施し、能力評価として客観的臨床能力試験を実
4	理学療法セミナーⅡ（OSCE2）		8	臨床教育実習Ⅲ・Ⅳに向けた、理学療法に必要な問診、面接、及び基本的評価・治療技術に関する演習を実施し、能力評価として客観的臨床能力試験を実施。
5	看護実践統合演習2-2		2	武蔵野大学看護学科：非常勤講師：「脳卒中患者、パーキンソン患者の動きの特徴、介助方法」について講義

（3）実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	地域理学療法学実習（3年後期）	○	23	介護老人保健施設における入所・通所・訪問リハについての詳細な業務に関する講義と、地域のいて重要な多職種連携に関する演習（緩和ケア、生活環境整備）。
2	ヒューマンケア体験実習（1年後期）	○	15	約400名の全学学生を対象にヒューマンケアについて考える。新型コロナの影響により本年度も学内実習で実施。通常は約80施設の協力を得て学外実習として実施。
3	臨床教育実習Ⅰ		学外実習：2週間 学内：2コマ	理学療法検査・測定についての体験的学外実習。3名担当。
4	臨床教育実習Ⅱ		学外実習：5週間 学内：5コマ	理学療法評価に関する学外実習。3施設担当。
5	臨床教育実習Ⅲ		学外実習：6週間 学内：2コマ	理学療法における評価・治療の総合学外実習。3施設担当。
6	臨床教育実習Ⅳ		学外実習：3週間 学内：2コマ	理学療法における地域リハビリテーション、および特別領域における総合学外実習。3施設担当。

（4）論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2023.4-2024.1	主指導　1名	副指導　0名

（5）その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし		

4．社会貢献活動

（1）講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	足立区桜花住区センター健康学習事業	足立区竹の塚保健センター	健康講座「からだの痛みを改善！今の元気を維持しよう」	2023.6
2	臨床実習受け入れ施設対象講習会	埼玉県立大学理学療法学科	フレイル予防事業への関わり方～ロコモ、サルコペニア、社会的フレイル、栄養･口腔フレイルも含めて～	2023.9
3	足立区南花畑住区センター健康学習事業	足立区竹の塚保健センター	体力測定および結果説明の講座	2023.9-10
4	2023年度埼玉協同病院教育研修センターIPW研修	埼玉協同病院	リフレクション（reflection）（振り返り 、反省、 内省、省察）	2023.10
5	彩の国連携力育成プロジェクト（SAIPE）実践者研修会	彩の国連携力育成プロジェクト	緩和ケアIPW（多職種連携）研修	2023.10
6	足立区竹の塚保健センター健康づくり事業	足立区竹の塚保健センター	講義「身体の健康づくりも踏まえた散歩＝ウォーキング」	2023.10
7	第42回関東甲信越ブロック理学療法士学会（教育講演）	埼玉県理学療法士会	座長：教育講演3「理学療法の効果を左右する加齢と老年症候群」講演者（島田裕之 氏）	2023.10
8	他職種連携を学ぶ講座（IPW実習）	埼玉県立大学	第1回（10.28）IPW総論「IPW/IPEとは？」：講師 第2回（11.11）IPW実習ファシリテータ（介護老人保健施設ビッラベッキア） 第3回（11.25）IPW実習リフレクション	2023.10-11
9	茨城県立医療大学　研究支援講座	茨城県立医療大学	講座「地域産学連携センターの活動と展望」	2024.1
10	足立区江北保健センター健康づくり連絡会	足立区江北保健センター	講座「転倒予防体操を通して正しい体の使い方を学ぶ」	2024.2
11	2023年度臨床実習指導者講習会	埼玉県立大学	臨床実習指導者講習会：講座講師、グループワーク･ファシリテーター	2024.3

（2）国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	越谷市	地域包括ケア推進協議会・会長	2021.7-現在
2	埼玉県医局機構	地域医療教育センター委員会研修企画作業部会員	2023.4-現在
3	公益社団法人　埼玉県理学療法士会	理事、副会長、学会評議会委員	2021.6-現在
4	公益社団法人　日本理学療法士協会	代議員	2021.4-2024.3
5	日本PNF学会	監事	2023.4-現在
6	第42回関東甲信越ブロック学会	副大会長、準備委員	2021.8-2023.10
7	埼玉県労働局	埼玉県地域職業能力開発促進協議会・委員	2023.10-2024.3
8	秋田大学	QS世界大学ランキング：研究者による評判調査回答候補者	2021.4-現在

（3）ジャーナリズムでの発言

	メディア等の名称	内容	年月
1	週刊 東部よみうり	県立大がまちに出て講座　住民の知りたいに応える	2023.10

（4）その他

	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	千間台西地域広報誌（くすのき）	コラムの執筆：「元気な人でも突然フレイルの入り口に立つキッカケがあります」	2024.1

5．学内運営

	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	地域産学連携センター・所長	2021.4-2024.3

2	学長指定プロジェクトへの関与	（大学間連携共同教育推進事業）彩の国連携力育成プロジェクト（埼玉県立大学リーダー）12年目	2012.10-
3	学科等における委員会等	臨床実習指導者講習会担当	2023.4-2024.3
4	学生支援	理学療法学科・ゼミ担当（8名）	2023.4-2024.3
5	大学広報活動	オープンキャンパス（学科紹介）	2023.6
6	大学広報活動	高校教員対象大学説明会	2023.6
7	全学的委員会及びセンター業務等	第2回SD研修会（専門職連携教育研修センターの説明）	2024.1
8	全学的委員会及びセンター業務等	第3回SD研修会（地域産学連携センターの説明）	2024.3
9	全学的委員会及びセンター業務等	地域産学連携委員会・委員長	2020.4-2024.3
10	全学的委員会及びセンター業務等	研究開発委員会・委員	2020.4-2024.3
11	全学的委員会及びセンター業務等	教員人事委員会	2023.4-2024.3
12	全学的委員会及びセンター業務等	教育･研究･地域連携の一体的推進事業審査会委員	2023.4-2024.3
13	全学的委員会及びセンター業務等	防災管理委員会委員	2023.4-2024.3
14	全学的委員会及びセンター業務等	発明審査会委員	2023.4-2024.3
15	全学的委員会及びセンター業務等	センター組織のあり方検討プロジェクトチームメンバー（専門職連携教育研修センター準備担当）	2023.4-2024.3

6．受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）

	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		

7．特許の取得

	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		

8．特記事項

1	該当なし